

フラッグシップ輸出産地の概要

笛吹農業協同組合一宮ブロック果実販売対策協議会

(会長 中村 千勝)

輸出品目

青果物（ぶどう）

主な輸出先国	香港、台湾（2023年）	輸出実績	50百万円（2023年）
対象となる地域	山梨県笛吹市		

輸出産地の概況

- ・国内市場の縮小や海外市場拡大の背景を踏まえ、2010年代より取組を開始し、鮮度保持及び輸出先での品質担保のための取組（サプライチェーンの組換え）を2022年から開始。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・香港向け輸出に関して、品質保持期間の長期化及び現地での安定した品質確保のため、産地から直接港湾、若しくは空港へ輸送し輸出。

アピールポイント

- ★輸出先の規制やニーズに対応した生産活動及び出荷体制の整備を進めることを目的に、2024年に輸出部会を設立。
- ★残留農薬の管理等、規制対応を確実に行うこと、及び世界の食品安全に対する世界の関心の高まりに的確に応えていくため、栽培情報管理のためのシステムの導入やGlobal GAP団体認証の取得を進めている。



産地バンニング後、東京港に向かうコンテナ